

大館国際情報学院高等学校	募集 定員	普通科 (38名)												
求 め る 生 徒 像														
本校は、「共生の精神をもち、主体的に力強く生きる人間の育成」を教育目標に掲げ、中高一貫教育校の特性を生かして、生徒一人一人の可能性を伸ばし、確かな学力の定着と国際化・情報化に対応した教育活動を実践している。 普通科では、探究的な学習活動を通して、周囲と協働しながら主体的に課題解決に取り組む資質・能力の育成を図っている。 以上のことから、次の1～3に当てはまる生徒を求める。 1 四年制大学進学への志を高くもち、主体的に学習に取り組み、探究する生徒。 2 学校生活において積極的にコミュニケーションをとり、互いを認め合うことができる生徒。 3 部活動において顕著な成果を収めており、入学後も継続して活動する意欲のある生徒。														
募集人員・出願の条件・配点・面接の形態等・選抜方法・その他														
特色選抜	募集人員 11名													
出願の条件 人物、学力に優れており、次の1、2の両方を満たしていること。 1 大学進学など将来の進路目標をもっており、入学後も学業に積極的かつ粘り強く取り組むことができること。 2 体育的・文化的活動において顕著な実績を上げ、又はそれと同等の優れた資質・能力をもっており、入学後も当該部活動を継続する意志を有すること。 配点 (合計 700点) <table border="0"> <tr> <td>1 学力検査</td> <td>250点</td> <td>(5教科の検査得点の合計500点満点を250点満点に換算)</td> </tr> <tr> <td>2 調査書</td> <td>200点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 面接</td> <td>120点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4 活動報告書</td> <td>130点</td> <td></td> </tr> </table> 面接の形態等 集団面接を実施する。 選抜方法 高等学校長が、学力検査の成績、調査書、志願理由書、活動報告書、面接等の評価に関する資料およびその他必要な資料に基づき、総合的に判断して選抜する。 その他 (活動報告書に対する指示等) 活動報告書「2 特色選抜の出願の条件に係る主な活動歴」の記載について 1 「1 高校入学後に取り組みたい部活動、生徒会活動等」の欄に記載した部活動について、中学校在籍時の関連する活動(部活動や学校外団体等)の大会実績等を記載すること。 2 実績を証明する資料は、賞状の他、公式記録や大会名及び成績が分かる新聞記事等、活動実績が分かるものを添付すること。			1 学力検査	250点	(5教科の検査得点の合計500点満点を250点満点に換算)	2 調査書	200点		3 面接	120点		4 活動報告書	130点	
1 学力検査	250点	(5教科の検査得点の合計500点満点を250点満点に換算)												
2 調査書	200点													
3 面接	120点													
4 活動報告書	130点													
一般選抜	募集人員 27名													
配点 <table border="0"> <tr> <td>1 学力検査</td> <td>500点</td> <td>(国語、数学、英語、理科、社会 各100点)</td> </tr> <tr> <td>2 調査書</td> <td>195点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 面接</td> <td>A～Cの段階別評価とする。</td> <td></td> </tr> </table> 面接の形態等 集団面接を実施する。特色選抜と併願している場合は、特色選抜の面接をもって一般選抜の面接に代える。 選抜方法 高等学校長が、次の1と2に基づき、総合的に判断して選抜する。 1 学力検査の検査得点の合計と調査書点を基に作成した相関表。 2 調査書の記載内容及び面接の評価に関する資料。			1 学力検査	500点	(国語、数学、英語、理科、社会 各100点)	2 調査書	195点		3 面接	A～Cの段階別評価とする。				
1 学力検査	500点	(国語、数学、英語、理科、社会 各100点)												
2 調査書	195点													
3 面接	A～Cの段階別評価とする。													

大館国際情報学院高等学校		募集 定員	国際情報科（４９名）								
求 め る 生 徒 像											
本校は、「共生の精神をもち、主体的に力強く生きる人間の育成」を教育目標に掲げ、中高一貫教育校の特性を生かして、生徒一人一人の可能性を伸ばし、確かな学力の定着と国際化・情報化に対応した教育活動を実践している。 国際情報科では、探究的な学習活動を通して、地域経済をはじめとする経済社会の発展に、商業の学びを活かす人材の育成を図っている。 以上のことから、次の１～３に当てはまる生徒を求める。 １ 各種資格の取得を目指し、主体的に学習に取り組み、探究する生徒。 ２ 学校生活において積極的にコミュニケーションをとり、互いを認め合うことができる生徒。 ３ 部活動において顕著な成果を収めており、入学後も継続して活動する意欲のある生徒。											
募集人員・出願の条件・配点・面接の形態等・選抜方法・その他											
特色選抜		募集人員１５名									
出願の条件 人物、学力に優れており、次の１、２の両方を満たしていること。 １ 商業科目への関心が高く、入学後も各種検定試験に挑戦する意欲を有すること。 ２ 体育的・文化的活動において顕著な実績を上げ、又はそれと同等の優れた資質・能力をもっており、入学後も当該部活動を継続する意志を有すること。											
配点（合計 ７００点） <table><tr><td>１ 学力検査</td><td>２５０点（５教科の検査得点の合計５００点満点を２５０点満点に換算）</td></tr><tr><td>２ 調査書</td><td>２００点</td></tr><tr><td>３ 面接</td><td>１２０点</td></tr><tr><td>４ 活動報告書</td><td>１３０点</td></tr></table>				１ 学力検査	２５０点（５教科の検査得点の合計５００点満点を２５０点満点に換算）	２ 調査書	２００点	３ 面接	１２０点	４ 活動報告書	１３０点
１ 学力検査	２５０点（５教科の検査得点の合計５００点満点を２５０点満点に換算）										
２ 調査書	２００点										
３ 面接	１２０点										
４ 活動報告書	１３０点										
面接の形態等 集団面接を実施する。											
選抜方法 高等学校長が、学力検査の成績、調査書、志願理由書、活動報告書、面接等の評価に関する資料およびその他必要な資料に基づき、総合的に判断して選抜する。											
その他（活動報告書に対する指示等） 活動報告書「２ 特色選抜の出願の条件に係る主な活動歴」の記載について １ 「１ 高校入学後に取り組みたい部活動、生徒会活動等」の欄に記載した部活動について、中学校在籍時の関連する活動（部活動や学校外団体等）の大会実績等を記載すること。 ２ 実績を証明する資料は、賞状の他、公式記録や大会名及び成績が分かる新聞記事等、活動実績が分かるものを添付すること。											
一般選抜		募集人員３４名									
配点 <table><tr><td>１ 学力検査</td><td>５００点（国語、数学、英語、理科、社会 各１００点）</td></tr><tr><td>２ 調査書</td><td>１９５点</td></tr><tr><td>３ 面接</td><td>A～Cの段階別評価とする。</td></tr></table>				１ 学力検査	５００点（国語、数学、英語、理科、社会 各１００点）	２ 調査書	１９５点	３ 面接	A～Cの段階別評価とする。		
１ 学力検査	５００点（国語、数学、英語、理科、社会 各１００点）										
２ 調査書	１９５点										
３ 面接	A～Cの段階別評価とする。										
面接の形態等 集団面接を実施する。特色選抜と併願している場合は、特色選抜の面接をもって一般選抜の面接に代える。											
選抜方法 高等学校長が、次の１と２に基づき、総合的に判断して選抜する。 １ 学力検査の検査得点の合計と調査書点を基に作成した相関表。 ２ 調査書の記載内容及び面接の評価に関する資料。											